

企業参入による取組事例 〔兵庫県豊岡市〕

1. 地域農業の状況

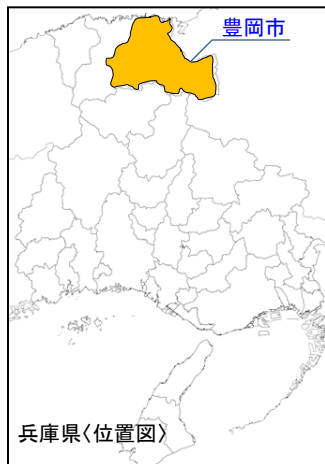
○ 豊岡市は市域の約8割を森林が占め、北は日本海、東は京都府に接し、市の中央部を円山川が流れる他、海岸部と山岳部に国定公園を擁する等、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれた地域である。産業は観光業や農業が盛んで、水稻、小麦、大豆、蕎麦、キャベツが生産されている。

○ しかしながら、70歳以上の農業就業人口は増加傾向にあり、担い手不足と高齢化の進行が深刻となっており、農業構造の脆弱化が進んでいる。

耕作放棄地面積は、昭和55年の116haから平成22年には270%増の429haとなっている。

また、これまで中山間地域に見られた耕作放棄地が、一部平野地でも見られるようになってきている。

○ 今後の方向性は、小規模農家から大規模農家への農地の流動化の推進、新規就農者の受入体制の整備、他産業からの受入体制の整備等を推進していく必要がある。



耕地面積	5,110ha	総農家数	5,232戸
田耕地面積	4,350ha	自給的農家数	2,088戸
畑耕地面積	764ha	販売農家数	3,144戸

資料：耕地面積統計（H26年）、2010年農業センサス（農林水産省）

2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体	(株)Teams	地区名	日高町太田(ただ)地区
再生面積	3.7ha（経営面積6.4ha）	取組年次	平成25年
作付作物	キャベツ、葉ねぎ等	販路	ホテル、飲食店、直売所等

(1) 参入の経緯

○ 代表者は元々豊岡市で建設業を営んでいたが、公共事業の減少を受け、経営の方向性を模索していた。そこで、常々地元農家の後継者不足や耕作放棄地の増加により農村地域が衰退する様子を見聞きしていた事もあり、農業分野への参入を決め、同様の構想を持っていた同業者とともに、農業の発展による地域経済の活性化を目指して、平成21年6月に農業生産法人(株)Teamsを立ち上げた。

(2) 株式会社Teamsの取組事例

○ 国の交付金を活用して地域の耕作放棄地を再生し、当地の栽培条件に合った作物を生産するとともに、農閑期には社員一丸となって企業訪問を行う等の地道な営業活動を行うことにより販路を開拓し、地産地消に取組む一方で、「地産」都「消」として都市部への販路拡大に取り組み、地域外のホテルや飲食店への出荷、定期的な産直市を開催している他、就農支援として農業技術指導、研修、定住支援などの取組みを行い、地域の雇用創出にも貢献している。



【再生前】



【再生後】

活用した支援策

H25 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)(再生作業／営農定着)